

# 新しいお墓のかたち

自分が亡くなった後のお墓の管理や  
墓じまいについて考えたり、不安になったりすることはありますか？

実は最近、遺骨をお墓に納めずに自然に散骨する  
新しい葬送方法を選択される方が増えてきています。  
どんな選択肢があるのか、詳しくお話を伺ってみました。

2022年・秋

VOL.  
05

「海洋散骨」事業にたずさわる、  
葬送のプロフェッショナルです。



**赤羽 真聡 先生** 株式会社ハウスポートクラブ 代表取締役社長 COO

2007年の創業以来、海洋散骨のフロントランナーとして成長を続ける株式会社ハウスポートクラブの代表を務めています。同社では「従来の価値観にとらわれない自由な葬送の選択肢を世の中に提供する」をビジョンに掲げ、海洋散骨事業「ブルーオーシャンセレモニー」とお別れ会・偲ぶ会のプロデュース事業「Story(ストーリー)」のサービス提供をおこなっています。

## さまざまな 自然葬

「お墓」といえば、名前が彫られた石のお墓を想像する方が大半だと思います。ところが、このようなお墓は年々新規購入者が減少しており、樹木葬や海洋葬など「自然葬」と呼ばれる方法が新たに注目を集めています。

### 樹木葬

墓石の代わりに木や花を植えるお墓のスタイル。自然のままの野山に遺骨を撒くことができる場所は実はかなり少なく、公園タイプやガーデニングタイプのような整備された施設がほとんど。

### 海洋散骨

粉末化した遺骨を船やヘリコプターなどを使って海に撒く方法。陸地から一定距離離れるなど、厚生労働省よりトラブル防止のためのガイドラインが出されている。

### 宇宙葬

遺骨をカプセルに納め、ロケットで宇宙へ打ち上げる方法。月面へ飛ばしたり、人工衛星に乗せたりなど、プランはさまざま。

### バルーン葬

粉末化した遺骨を大きな風船に入れて、空に飛ばす方法。風船は空高く昇り、成層圏で割れて中の遺骨が空に散布される。

## いま注目の 海洋散骨

中でも、ここ数年急激に希望者が増えているのが「海洋散骨」です。最近では橋田壽賀子さんや石原慎太郎さんといった著名な方々も海洋散骨を選択され、注目を浴びています。

海洋散骨は樹木葬などと比較して形が残らない、維持管理が不要、どこにいても海へ向かってお参りができるといった特徴があり、特に单身や子供のいない世帯で供養に悩む方々にとって「後に残らない」という点は大きな利点になります。

また、後継ぎ問題はこれからのお墓だけでなく、今あるご先祖様のお墓についても深刻です。お墓が遠方にある、親族が高齢になった、などの理由でご先祖様を祀る大切なお墓の維持管理が難しくなり、「墓じまい」※を検討する人も少なくありません。

※先祖のお墓からご遺骨を取り出して、墓石を撤去する一連の作業を指します。

### 自然葬を選ぶ方々の声

- 自然(海)が好き
- 自由になりたい
- 暗い土の下に入りたくない
- 後継ぎがない
- お墓のことで子供に負担をかけたくない



# 海洋散骨のガイドライン

「そうは言っても、海洋散骨って違法行為でしょう？」と言われることも少なくありませんが、これは誤った認識で、まったく違法ではありません。

海洋散骨はまだ新しい葬送手段ですので、従来の墓地埋葬に関する法律の中では定義されていない面も多くあるのは事実です。法整備されていない分、刑法や海上運送法などさまざまな法律を踏まえたガイドラインが厚生労働省より発表されており、ガイドラインを遵守することで安全に節度ある海洋散骨が実施できます。尚、条例により海洋散骨が制限されている地域もありますので、希望の海がある場合はあらかじめ調べておくことをおすすめいたします。

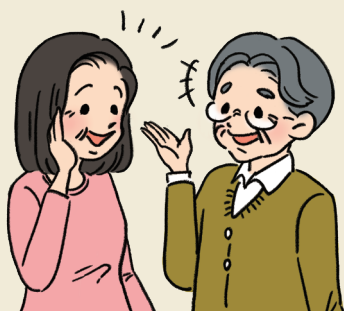
## ガイドラインの一例

- 法令遵守
- 海岸から一定距離離れた海域でおこなうこと
- 粉骨の義務  
(遺骨とわかる状態のまま海に撒かない)
- 周辺住民や漁業者等の宗教的感情への配慮をすること
- 自然環境への配慮  
(自然に還らない副葬品は撒かない)

散骨業者を選ぶ際には、ガイドラインの内容がきちんと守られているかが一つの判断基準となります。



## お墓の形は自由に選択。



地方の過疎化や超高齢化社会が進行する中、先祖の墓じまいを選択する方はますます増えていくと考えられますが、親族間で意見が分かれるケースも少なくないため、しっかりと話し合って意見をまとめておくことが大切です。

亡くなったあと、眠りにつく場所を自分で自由に選べる時代です。お元気なうちからどのようにして欲しいのか、しっかりと自分の意思を残しておくことが重要になります。見学ツアーをおこなっている樹木葬施設や霊園のほか、海洋散骨の体験クルーズをおこなっている会社もありますので、ぜひ一度ご自身の目で確かめてみてはいかがでしょうか。

家族と事前の打ち合わせ!

このレターは、文京区社会福祉協議会(以下、文社協)で行った終活関連イベントにお越しいただいた方や、文社協の終活支援事業にお問い合わせいただいた方に送付しております。また、区内で配架もしております。今後も終活に関する情報について、不定期で発行予定です。

配信停止をご希望の方は、文社協担当までご連絡ください。

文社協では、「文京ユアストーリー」という終活支援事業を行っております。

「文京ユアストーリー」は、文京区にお住まいの高齢者の皆様が最期まで自分らしく安心して暮らせるよう、定期的な連絡・訪問を行い、事前に一定の現金を文社協が預かることで、急な入退院時の支払い等のお手伝いや、死後の葬儀、家財処分等の死後事務の手続きを実施し、一体的にサポートする終活支援事業です。ご契約の際には、後見制度への意向も含めて丁寧にあなただご希望を伺います。ご利用には、入会金と年会費、預託金(※もしもの時のために予め預かりしておく現金)が必要です。

対象となる方

※以下のすべてに該当する方を対象とします。

- ①文京区内に住む、原則70歳以上の方
- ②明確な契約能力を有する方
- ③身近に頼れる親族等がない方
- ④生活保護を受給していない方

問い合わせ 文京区社会福祉協議会 地域福祉推進係 文京ユアストーリー担当

TEL 03-5615-8851 FAX 03-5800-2966